



代表者たちがここに集まって、山崎さんの経営ぶりを見られたこともあったようでした。それほど模範的な経営をしておられるのです。そしていつのころか書道の研究を始められていたのです。書道の先生のお話など全部速記して、自分の知識とされるほどの熱心さでした。たちまちその存在が書道界に認められるようになれば、国内のいろいろな書道展はもちろん、パリで開催される書道展では国際芸術大賞をもらわれ、またソ連で開催される日本書道の代表者展示会にも、選ばれて出品されるほどになっておられ、「書壇昭和代表二百人」という本にも載っています。